

## 31回目を迎えたコンテンポラリーダンスの祭典 「ヨコハマダンスコレクション」 コンペティション受賞振付家決定！

世界的な振付コンクールの日本プラットフォームとして1996年にはじまった当コンペティションは、「若手振付家の発掘とサポート」を目的とし、振付家やダンサーが構成、演出、技術のみならず新たな表現の可能性に挑む、創造性に基づく対話・交流のプラットフォームです。これまでに500組以上の振付家がファイナリストとして参加し、社会に向き合い、身体と表現に向き合いながら、国内外で多彩な活動を繰り広げています。

31回目となる今回は、2025年5月9日から6月24日まで公募を行い、18の国・地域から計193組の応募がありました。映像・書類審査会を経て決定した18組（コンペティションI:8組／うち1組辞退、コンペティションII:10名）が、11月27日～11月30日の間に上演審査にのぞみ、以下の通り各賞の受賞者を決定いたしました。



Photo: Sugawara Kota

## 【コンペティションI】

### ■ 審査員賞

ワン・ジャーニィ & フォン・ウェイディ (中国) 『Into Thin Air』

### ■ 若手振付家のための在日フランス大使館賞・ダンス リフレクションズ by ヴアン クリーフ&アーペル賞

阿部 真理亜 『Queen of Zoos』

### ■ アーキタンツ・アーティスト・サポート賞

宮 悠介 『暁鶴-repetitions-』

ライ・ホン ジヨン <HUNG DANCE> (台湾) 『Push and Pull』

### ■ 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 賞

ライ・ホン ジヨン <HUNG DANCE> (台湾) 『Push and Pull』

### ■ 奨励賞

神田 初音ファレル 『懲肉祭～希求消失夜想曲 Ver.～』 ※「希求」に打ち消し線あり。

### ■ ベストダンサー賞

<HUNG DANCE> ライ・イ・フェイ、チェン ユー・ティ (台湾)

## 【コンペティションI 審査員】

岡見さえ (舞踊評論家、共立女子大学文芸学部教授)

木村絵理子 (弘前れんが倉庫美術館 館長)

長塚圭史 (劇作家、演出家、俳優、KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督)

浜野文雄 (新書館「ダンスマガジン」編集委員)

康本雅子 (ダンサー、振付家)

サンソン・シルヴァン (在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ 文化担当官)

カトリーヌ・ティケニス (フランス国立ダンスセンター (CND) 総合ディレクター)

セルジュ・ローラン (ヴァン クリーフ&アーペル ダンス&カルチャー プログラム ディレクター)

※アーキタンツ・アーティスト・サポート賞の審査は山崎広太 (ダンサー・振付家) と佐藤美紀

(プログラムマネージャー) が、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 賞の審査員は上栗陽子 (事業制作リーダー) が務めました。

## 【コンペティションⅡ 新人振付家部門】

### ■ 最優秀新人賞

田村虹賀 『空間に調和することのレクチャー』

### ■ アーキタンツ・アーティスト・サポート賞

多炭真歩 『机の中のごたごた』

### ■ 奨励賞

上田園乃 『Is it shaking now? The ground, or me?』

阪田小波 『ああ、俺はあと何回膝を曲げたら死ぬのか否か』

### ■ ベストダンサー賞

横井伽歩 『Peeling Scales』

## 【コンペティションⅡ 審査員】

加藤弓奈 (NPO 法人アートプラットフォーム 理事)

スズキ拓朗 (CHAiroiPLIN 主宰、ダンサー、振付家、演出家)

浜野文雄 (新書館「ダンスマガジン」編集委員)

吉開菜央 (映画作家、ダンサー)

※アーキタンツ・アーティスト・サポート賞の審査は山崎広太 (ダンサー・振付家) と佐藤美紀 (プログラムマネージャー) が務めました。